

京都大 特色入試に女性募集枠を導入 2026年度入試から

河合塾

2024/04/01

このほど京都大学は特色入試に女性募集枠を導入することを発表した。理、工学部が対象で、2026年度入試からとなる。

女子枠は2024年度入試で国公立立合わせて35大学が総合型・学校推薦型選抜で実施しており、近年導入大学が増加している（河合塾調べ）。以下、具体的な内容をみていく。

京都大の女性募集枠

理学部では総合型選抜で実施

理学部では物理学・数学入試で10名、宇宙・地球惑星科学入試で5名を募集する。いずれも既存の一般枠と同様、総合型選抜で実施する＜図表1＞。女性募集枠と一般枠との併願はできない。なお、一般枠でも新たに化学入試が導入される。

女性募集枠の選考は3回に分かれており、提出書類、大学独自の能力測定考査、小論文、口頭試問などに加え、大学入学共通テスト（以降、共通テスト）の成績も利用する。共通テストの得点は概ね70%以上であることが合格の基準として示された。

一般枠の選抜方法と比較すると提出書類の種類、共通テストの基準点に差はみられない。一方、2次選考で実施する能力測定考査、小論文は、今回初めて実施される内容だ。大学の特色入試のサイトにはサンプル問題が公開されている。物理学・数学入試の能力測定考査では、120分の試験時間で物理3問、数学1問が出題される形式となっている。宇宙・地球惑星科学

＜図表1＞ 理学部 特色入試（総合型選抜 女性募集枠）の概要

募集人員	物理学・数学入試 10名	宇宙・地球惑星科学入試 5名
現卒区分	1 浪まで	1 浪まで
選抜方法	1次選考：提出書類 2次選考：物理学及び数学に関する能力測定考査。考査合格者に対し口頭試問 最終選考：能力測定考査・口頭試問の成績、大学入学共通テスト（6教科8科目） ※共通テストの得点が概ね70%以上であること	1次選考：提出書類 2次選考：小論文。小論文合格者に対し口頭試問 最終選考：小論文・口頭試問の成績、大学入学共通テスト（6教科8科目） ※共通テストの得点が概ね70%以上であること

※京都大学公表資料より

＜図表2＞ 工学部 特色入試（学校推薦型選抜 女性募集枠）の概要

募集人員	地球工学科 5名	物理工学科 5名	電気電子工学科 7名	情報学科 2名	理工化学科 5名
現卒区分	現役のみ	現役のみ	現役のみ	現役のみ	現役のみ
選抜方法	提出書類、大学入学共通テスト（6教科8科目） 共通テストの得点が概ね80%以上かつ数・理4科目のうち少なくとも1科目の得点が90%以上で、提出書類が評価Aの者を合格とする ※一般枠と女性募集枠は併願可だが、女性募集枠の合格が優先	提出書類、大学入学共通テスト（6教科8科目） 共通テストの得点が概ね80%以上で、提出書類が評価Aの者を合格とする ※一般枠と女性募集枠は併願可だが、女性募集枠の合格が優先	提出書類、大学入学共通テスト（6教科8科目） 提出書類が評価Aの者のうち、共通テストの得点が概ね80%以上の者を合格とする ※一般枠との併願不可	1次選考：提出書類 2次選考：口頭試問 2次選考合格者のうち、共通テスト（6教科8科目）の得点が概ね80%以上の者を合格とする ※一般枠と女性募集枠は併願可だが、女性募集枠の合格が優先	1次選考：提出書類 2次選考：口頭試問 口頭試問がA評価の者のうち、共通テスト（6教科8科目）の得点が概ね80%以上の者を合格とするが、概ね80%に達しない科目がある場合は不合格にすることがある ※一般枠と女性募集枠は併願可だが、女性募集枠の合格が優先

※京都大学公表資料より

入試の小論文も試験時間は120分で、与えられた語群の中から興味がある自然現象を選び、高校生向けの3幕の動画を作成するとし、そのナレーションを各600字で作成するというものだ。

工学部では学校推薦型選抜で実施

工学部では建築学科を除く5学科で女性募集枠を導入する＜図表2＞。学部全体の募集人員は24名で、学校推薦型選抜で実施する。一般枠同様、現役生が対象となる。電気電子工学科は一般枠との併願は認めないが、他の4学科は女性募集枠と一般枠の併願を認めており、合格は女性募集枠が優先される。

選考方法は学科ごとに異なる。地球工、物理工の2学科は提出書類と共通テストの成績で選抜する。共通テストはそれぞれ基準点が示されている。電気電子工学科は提出書類の審査に重きが置かれ、書類A評価の者の中から共通テストの基準点以上の者が合格者となる。情報、理工化学の2学科は提出書類で1次選考が行われ、2次選考では口頭試問が行われる。情報学科は2次選考合格者のうち共通テストが基準点以上の者が合格、理工化学科では口頭試問がA評価の者のうち、共通テストの得点が基準以上の者が合格となる。理工化学科では、さらに科目ごとにも基準点があり、基準に達しない科目がある場合は不合格にすることがあるとしている。

急速に拡大する「女子枠」

2024年度時点で35大学が導入

大学入試の「女子枠」は近年急速に拡大している。2024年度入試で「女子枠」を実施したのは国公立立大あわせて35大学、うち東京工業大、熊本大、東京理科大など21大学が2024年度から導入した（河合塾調べ）。急速に拡大したきっかけは、2022年5月に公表された教育未来創造会議「第一次提言」である。理系分野での女性活躍を後押しするため、入学者選抜で女子枠を設ける大学に、国から財政支援が行われるようになった。このため、理工系学部を中心に総合型・学校推薦型選抜での実施が広がっている。

2025年度はすでに千葉大、神戸大など10大学が、2026年度も京都大のほか広島大が導入を公表している。また、東京工業大、名古屋大などが2025年度からの実施学部・学科の拡大を公表している。